

2026年6月号

コロボックルの里から

NO.75

ありがとう便り

有限会社 サンユー農産

公式ホームページ <https://korop-siso.com>

健康村コロボックルの里
(札幌事務所)

札幌市西区発寒4条4丁目9-24 ・ コロボックルの里農園 北海道余市郡仁木町東町8丁目60

TEL ☎ 0120-560-963 FAX 011-668-1187



全国には素晴らしい温泉の温泉があります。草津温泉、下呂温泉、別府温泉、有馬温泉など数えきれないほどですが、もちろん北海道も例外ではありません。帯広から車で二十分ほどのところにある「十勝川温泉」もその一つで、ここは世界でも数少ない「植物性モール温泉」であり、「美人の湯」として知られています。私はこの温泉がとても好きなのですが、外国資本がほとんど入っていないため、純粋に和風のひなびた温泉郷としての趣が残っている点も気に入っています。

先日、その十勝川温泉に一泊二日で小旅行に出かけました。札幌から車で三時間強ということもあり、マイカーで訪問する人が多いようですが、私はお酒を飲みながらのんびり向かいかけたため、JRで行くことにしました。JRの場合、帯広まで特急で向かい、そこから路線バスに乗り換えることになります。

さて、2年ぶりに乗ったJR北海道の特急ですが、列車の揺れのすごさに驚きました。2年前も結構揺れていた記憶はありましたが、より激しくなった印象です。座席のテーブルに置いた「サンドリア」（札幌の有名サンドイッチ店）の商品が、右に左に滑っていきまます（笑）。これほど揺れると、腰の悪い人は辛いのではないかと心配になります。これほど揺れた、昨年、伊豆へ旅行した際は、東京からの特急はほとんど揺れませんでした。それだけに「なぜこれほど揺れるのか」と疑問に思い調べてみると、そこは道東地域の人口や観光需要、JR北海道の経営難などが複合的に絡み合っているようです。

そもそも揺れる大きな原因は、この区間が「非電化」の山岳ルートであるためです。高出力のディーゼルエンジンを唸らせて険しい峠を駆け抜けるため、車体の傾斜や路面のカブと相まって、床下からの強い振動が座席にダイレクトに伝わってきます。なお、以前は時速130キロで爆走していましたが、現在は安全対策のため最高時速120キロに抑えられているそうです。

現在、この区間の特急の乗車率は年間平均で40%〜50%だそうです。札幌〜帯広間は一日に11往復の特急が走りますが、路線維持の観点からはギリギリのラインと言われています。乗車率が伸び悩む背景には、高速道路（道東自動車道）の開通により、マイカーや高速バスの方が圧倒的に安く移動できる点が挙げられます。特急だと約2時間半、車やバスだと3時間強のため、時間的な優位性もそれほど高くありません。これがもし、設備改良などで2時間前後まで短縮できれば、JRの優位性がグッと高まるのかもかもしれません。

日中、帯広の街を散策しましたが、どこか閑散としていました。駅から10分も歩くと空き家も目立ちます。そして目的の十勝川温泉。温泉は非常に素晴らしい快適だったのですが、その実力に対して温泉街の規模が少し寂しいのも気になりました。確かに、帯広駅からのアクセスはお世辞にも良いとは言えません。バスは一日に6往復のみです。「ここ」に駅があれば違うのだから、とも思いますが、このアクセスの壁が、観光客を取り込みきれない大きな理由だと感じました。

出生率が年々下がり、これから数十年単位で地方の人口は著しく減ってきています。地方都市が生き残るには、アクセスの良さ、その土地ならではの「目玉」があるかどうかにかかっています。「十勝川温泉」は間違った強力な目玉になり得る存在ですが、そこへ至るインフラ整備や設備投資の壁を考えると、一筋縄ではいかない難しさを実感させられる小旅行でした。

農園だより



小旅行で
行ったお話

半額の玉ねぎ苗は本当に育つか？農家が試しに植えてみた



当農園は、基本的に「しそ」「ミニトマト」「さくらんぼ」「ブルーベリー」等、栽培している農作物は決まっています。ですが、それとは別に、主に自家消費を目的として家庭菜園をやっています。

この家庭菜園で採れた野菜から、ポイント特典の野菜セットを作っているのですが、いつものように野菜の苗を購入しているときに、半額コーナーにたまねぎの苗が大量に置いてありました。金額はなんと一束 20 苗で 163 円！「・・・育つか？」

疑心暗鬼になった私ですが、どうにも気になってしょうがありません。すでに必要量は植えていたのですが、安売りされたこの苗を二束購入してみました。

というわけで、今回はこの半額のたまねぎの苗の購入、植え付けから収穫（できれば）までをレポートしたいと思います！※これからレポートする苗は、あくまで自家消費用です。ポイント特典の野菜セットに入っている玉ねぎは、ちゃんとした元気な苗で栽培していますのでご安心ください！

1 購入！

たまねぎは、種から栽培するのはとても難易度が高いので、基本的には苗を購入して植えつけます。今回は家庭菜園なので、ホームセンターで購入します。数年前までは、近隣の苗専門農家で購入することが多かったのですが、今はホームセンターの品ぞろえがすごくいいですね。今回は、余市町にある DCM さんで購入しました。

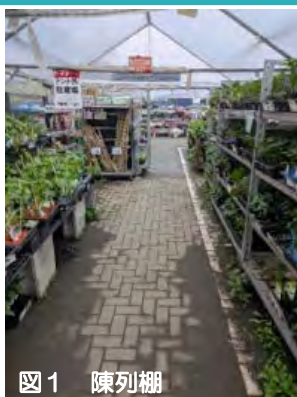


図1 陳列棚



図2 無造作に置かれた玉ねぎの苗

ここで農家の血が騒ぎ始めます。「玉ねぎの苗は強い」と聞いているし、「この苗をきちんとケアしたらきちんと成長するのか見てみたい・・・」ということで、二束だけ購入しました。



図3 購入した苗 → 根が茶色いのが気になるが・・・

2 定植！その①

それでは定植していきます。いつもは露地に植えるのですが、今回はハウスにマルチを張って、そこに定植します。マルチを使用することで、保温効果と保湿効果、さらには雑草を生えにくくする効果があります。

本来であれば、右の画像のように一列 5 穴のものが主流なのですが、これだと結構土の養分が吸い取られるため、一列 2 穴のマルチに植えることにしました。



図4 玉ねぎ、にんにく用マルチ

3 定植！その②

右のような感じのマルチを使います。→



図5 今回使用するマルチ



図6 植え付ける苗

←では植えてみます。

植えてみました！苗がマルチの上に寝ていますが、これは玉ねぎの根がまだ根付いていないためです。しっかりと根付くと、起き上がってピンとします。マルチ上のリスクは、気温が高くなるとマルチビニールの表面温度が高温になることにより、苗が焼け死んでしまうことです。そのため、マルチに接触している部分に土を置くことで、焼けることを防止しています。



図7 植えてみた



20 本の束が二つでしたが、4 本ほどは苗が悪くなっていて植えられませんでした。そのため、36 本を植えました。水をたっぷりあげて、根がしっかりと根付くまで様子を見ます。

←図8 ここからどうなるか



ちなみに・・・

元気な苗について、毎日水とマルチ焼けに注意した結果、5 日くらいで少しずつ苗が立ち始め、2 週間ほどで、ほとんどの苗がしっかりと立ち上がりました。これくらい元気になるといいなあ・・・

←図9 元気な苗は立っています！

この後は、定期的に肥料を与えます。はたして半額苗から、ちゃんと玉ねぎは収穫できるのか。冬号で結果をレポートします！